



## 東京広告協会「広告未来塾」

### 第4期のご案内

#### 「広告未来塾」開講にあたり

---

2017年、東京広告協会の70周年事業の一環として「広告未来塾」を開講いたしました。

第4期を迎えるこの塾は、広告界に集う次世代を担う若い人たちが、広告界の最高・最新の知見を学び、将来に渡る人的ネットワークを築いて頂く、東京広告協会ならではの創発と交流の場を提供出来るものと自負しております。

広告界がこれからもイノベティブで活気に満ちた業界であり続けるため、志の有る皆様からの参加をお待ちしています。

東京広告協会 理事長 大平 明



公益社団法人  
東京広告協会  
TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION

## 第4期塾長より 塾生へのメッセージ

---

### Creativityの力でできないことなんかひとつもない

みんな、広告はこれからどうなるんだろうと思っている。  
けれど、未来を予測して右往左往するのはあまりかしこくない。  
なぜなら、広告の未来がどうなるかなんて誰にもわからないから。

まだ誰もやってないどんなことができるだろう。  
みんなの中に新しくどんな気持ちを創りだせるだろう。  
世界の何と何と何をどんなふうに変えることができるだろう。

自分自身の問いかけから、  
広告で培ってきたcreativityの力を駆使して  
新しい仕事を創っていくことによってのみ、悪くない未来はやってくる。

このタフな時。  
人類は生きることそのものを再構築することになる。  
何に意味があって、何に意味がないか。  
何が幸福をもたらし、何が不幸をもたらすか。  
何がカッコよくて、何がカッコ悪いか。  
何がよいルールで、何がダメなルールか。

今ほど、アイデアが求められている時代はない。  
そして、僕は信じているのだ。  
creativity の力でできないことなんかひとつもないことを。

講座では、creative directionという仕事を習得するために  
多角的なプログラムを体験していただきます。

### 古川 裕也

株式会社電通 CDC シニア・プライム・エグゼクティブ・プロフェッショナル/  
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

クリエイター・オブ・ザ・イヤー、カンヌ40回、アドフェスト・グランプリ、広告電  
通賞、メディア芸術祭、ACC グランプリ等内外の賞を400以上受賞。カンヌ4回、ク  
リオ審査委員長、ACC 審査委員長等、審査・講演多数。九州新幹線「祝！九州」、ポカ  
リスエット「ガチダンス」シリーズ、宝島社「死ぬときくらい好きにさせてよ」「嘘つき  
は戦争のはじまり」、GSIX ローンチ、sayonara 国立競技場などを手掛ける。  
2020年度D&AD賞で、特別賞「プレジデント・アワード」をアジア人で初めて受賞。



## テーマ・講師陣

(敬称略)

全体テーマ 『Creativityの力でできないことなんかひとつもない』

各回テーマ

【第1講】	11/17 (火)	「クリエイティブ・ディレクションの技術」	古川 裕也
【第2講】	12/1(火)	演題調整中	高崎 卓馬 (電通)
【第3講】	12/15(火)	演題調整中	嶋 浩一郎 (博報堂ケトル)
【第4講】	1/19(火)	演題調整中	志村 和広 (電通)
【第5講】	1/29(金)	演題調整中	佐々木紀彦 (NewsPicksStudios)
【第6講】	2/16 (火)	「広告という仕事を更新するために必要なこと」	古川 裕也

## ゲスト講師紹介

(敬称略)

### 第2回 高崎 卓馬

(株)電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター/CMプランナー

1969年福岡県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、電通入社。JAAAクリエイター・オブ・ザ・イヤーを2度受賞するなど国内外の受賞多数。近年の仕事に、JR東日本「行くぜ、東北。」、サントリーオレンジナ「ムッシュはつらいよ」、三井のリハウス「家族は、つづく。」、ANA「ひとには、翼がある。」など。映画、ドラマ、ラジオなど広告とコンテンツの境界を自由に考える仕事も多い。著書に、小説「オートリバース」、広告関連では「表現の技術」「面白くならない企画はひとつもない」などがある。



### 第3回 嶋 浩一郎

博報堂ケトル 取締役 クリエイティブディレクター/編集者

1993年博報堂入社。01年朝日新聞社に出向。スターバックスコーヒー等で発売された「SEVEN」編集ディレクター。02～04年博報堂刊「広告」編集長。04年「本屋大賞」創設に参画。NPO本屋大賞実行委員会理事として「本屋大賞」の運営を行う。06年博報堂ケトルを立ち上げ多数の統合キャンペーンを実施。雑誌「ケトル」の編集等コンテンツ事業も手がける。12年ブックコーディネータ内沼晋太郎と下北沢に本屋B & Bを開業。主な著書に『欲望する「ことば」～「社会記号」とマーケティング』など。カンヌクリエイティビティフェスティバル、ACC賞など多くの広告賞で審査員も務める。



### 第4回 志村 和広

(株)電通 第4CRプランニング局 クリエイティブ・ディレクター

大学・大学院ではバイオテクノロジーを専攻。現在は、クリエイティブの領域拡張を目指し、広告のみならず、サービス&プロダクト開発、イノベーション領域に取り組む。受賞歴に、Cannes Lions、One Show、Clio Awards、D&AD、LIA、Adfest、Spikes Asia、ACC賞など多数。2017年Cannes Lions デジタルクラフト部門審査員、2018年Spikes Asiaイノベーション部門審査員。Cannes Lions電通セミナー「Creativity for Business Innovation」など海外講演も多数。



### 第5回 佐々木 紀彦

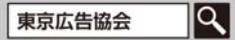
NewsPicks Studios CEO

1979年福岡県生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業、スタンフォード大学大学院で修士号取得(国際政治経済専攻)。東洋経済新報社で自動車、IT業界などを担当。2012年、「東洋経済オンライン」編集長に就任。リニューアルから4か月で5301万ページビューを記録し、同サイトをビジネス誌系サイトNo.1に導く。2014年、NewsPicks初代編集長に就任。著書に『米国製エリートは本当にすごいのか?』『5年後、メディアは稼げるか』『日本3.0 2020年の人生戦略』がある。



## 概要

---

- 対 象** 会員社、非会員社・一般の、若手/中堅層（20代～30代を想定）
- 開催日** 2020年：11/17（火）、12/1(火)、12/15(火)、2021年：1/19(火)、1/29(金)、2/16（火）全6回
- 時 間** 19時～21時
- 会 場** 新橋近辺講義会場もしくはオンラインライブ配信  
新型コロナウイルスの情勢を見極めつつ、直前に開催方式の決定を予定しています。  
詳細は受講者様に直接ご連絡いたします。
- 受講料** 会員社 30,000円/全6回分（消費税込） 非会員社・一般 35,000円/全6回分（消費税込）  
※6回通しのみ、1回のみ参加受付はございません。  
※開講中の参加者の変更は、やむを得ない場合を除いてご遠慮ください。
- 定 員** 50名  
応募者多数の場合は、**抽選**とさせていただきます。**※先着順ではありません。**
- 申 込** 東京広告協会ホームページよりお申込ください。  
<http://www.tokyo-ad.or.jp/>   
**10/2（金） 申込受付開始**  
**10/20（火） 応募〆切**  
**10/30（金） 当落に関わらず全ての方に抽選結果ご連絡（予定）、その後受講証及び請求書発送**
- お支払** 受講証及び請求書をお受け取りになりましたら、受講料を銀行振込にてお支払いください。  
※振込手数料は受講者様の負担をお願いします。  
※受講料振込以降のキャンセルの場合は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- 問合せ** 公益社団法人東京広告協会  
広告未来塾事務局 石川ひとみ  
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル7F  
TEL : 03-3569-3566  
MAIL : [miraijyuku@tokyo-ad.or.jp](mailto:miraijyuku@tokyo-ad.or.jp)